

荒廃農地を活用して野菜づくりで浮島・原地域活性化活動

NPO法人IBA未来塾

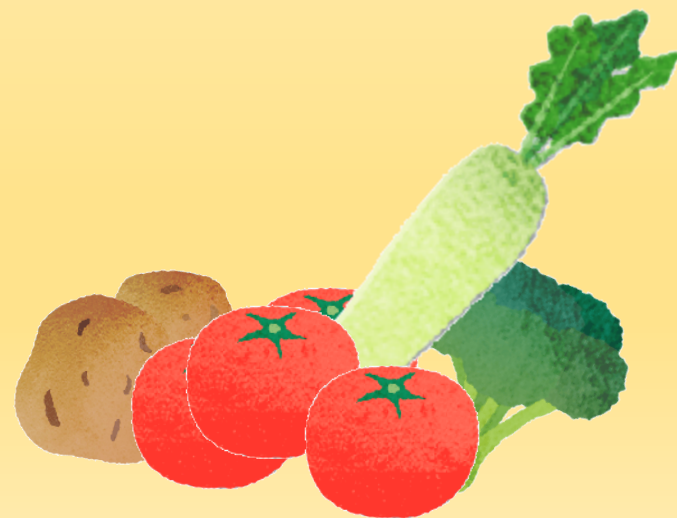
所在地 : 沼津市西添町27-12

代表者 : 松田啓資 理事長

連絡先 : 090-1291-4638

担当者 : 矢部光雄

担当者連絡先 : 080-8269-6545



目的

野菜作りを通して、原浮島地区の市民間の交流の場を作り活性化の一助とする。

動機

原浮島地区における市民間の交流の機会が少なく、少子化・高齢化が進む中で、地域交流の推進を図る必要性に迫られたことに起因する。

背景

沼川に耕作放棄地が存在し、これを活用して野菜作りを行うことにより、農地の再生化が図れ、且つ、耕作放棄地の解消ができる。

運営方法

組織 理事長 1名

農園長 1名

会 員 8名 令和2年8月現在

- 打合せ役割や確認は毎週月曜日に未来塾の事務所にて、全員で9:00から行う
- 実技は毎週水曜日の朝8:00又は8:30から農園長の説明で実技開始し、終了後、反省会及び次回の予定を説明する
- 年2回 3月及び9月の春夏野菜と秋冬野菜の切り替え時には未来塾の事務所にて理事長より、半期の方針の説明会及び会員相互の意見交換を行う。

スケジュール

荒廃農地の様子

ビニールハウス、鉢、パイプ、プラスチック製品が散乱していた



畑づくり

廃棄物の片付け

- ・草刈り
- ・順次 耕し



ほうれん草の収穫

初めての収穫祭

施設の皆さんを招待してのほうれん草の収穫



ジャガイモの収穫

メイクイーン
きたあかり



サツマイモの植え付け

体験学習

6月： 植え付け

12月： 収穫



トマトの栽培

収穫祭用にトマトの栽培／カラスの被害に遭う／トウモロコシはハクビシンの被害



かぼちゃ苗の植え付け

ピーナッツかぼちゃの栽培

料理方法、特産品に市長にもお願い



トマトの収穫



大根の収穫



野菜講座

春、秋の2回実施



男の料理教室

沼津会場
原会場
年2回



事業効果

アグリのにし沼川ガーデン開設のチラシ延べ3500枚を浮島、原地域に配布。野菜づくり体験会、収穫祭、焼芋祭り等4回配布。自治会の協力、業者の無料チラシ配布などこの地で受け入れてもらう機会になった。収穫した野菜は、殆ど寄付。沼川の活性化も兼ねて交流の機会の場の提供。遊び友だち作りに貢献できることを皆で共感した。尚、野菜で交流会に料理体験会に来た参加者が、1年間で12名NPO活動の一番の財産を得ました。

活動実績まとめ

- 荒地から畑作り
- 野菜栽培
- 収穫祭(ホウレンソウ、ジャガイモ、トマト、サツマイモ、大根) *トウモロコシは出来ず
- 料理体験会(春、秋、沼津・原会場の2か所)
- 野菜講座 2回

課題について

参加者数のアップ

料理・体験学習・収穫祭

前年度： 延べ290名 今年度： 前年の50%アップ

課題： 鳥獣対策(カラス、ハクビシン、イノシシによる野菜の被害あり)

イベントの周知、PR方法の検討、駐車場の確保

今後の活動について

野菜作り40名、受け入れ可能なので継続して活動します 沼川の恩恵を受けていますので桜並木だけでなく沼川の活性化も進めていきます 果樹園の開設も検討していますので沼津西部の交流拠点を目指します 東西南北のロケーションは沼津で一番ですから笑顔のあふれる地域を目指します 近くには5つ橋があり活用されていませんから観光資源としてアピールしていきます